

新『東京ゲート記念館』オープンされる

山田元久(元所員)
Motohisa YAMADA

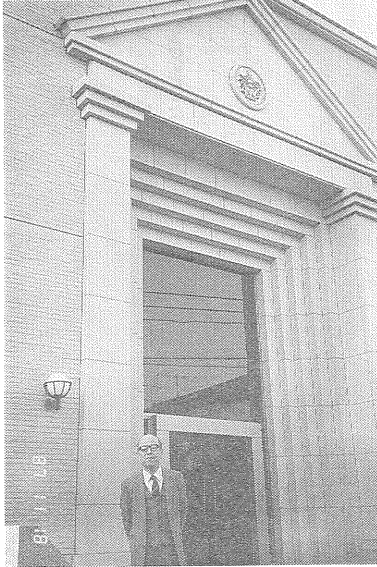


写真1 正面玄関

昭和63年4月3日 染井吉野の桜の名所として広く知られる飛鳥山公園に近い 東京都北区西ヶ原2-30-1の地に 財団法人東京ゲート記念館の新館がオープンした。渋谷区の旧館が手狭になったため この地に移転されたのである。ここは渋沢記念館 古河庭園それに前記の飛鳥山公園などに囲まれた好立地(第1図)に位置し 白御影の外壁の鮮やかな地上3階 地下1階の規模で 重厚でありまたノーブルでスマートな外観は 女性建築家による設計にふさわしい佇まいである(写真1)。

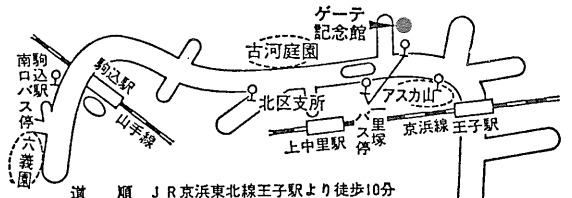
玄関脇の植込みには 同じ白御影の台石に東京ゲート記念館と刻まれている(写真2)。 玄関を入ると 玄関ホールには正面にゲートの胸像が(写真3) 右側の壁面には 森林太郎の訳詩のついたゲートの名文(別記 写真4)の金属板が填め込まれている。 ホールの右側の展示室には この記念館の来し方について またゲートに関する貴重な資料の幾つかが整然と展示されている。 その2~3を挙げるとゲート自身の編集になる1806年のゲート全集 若きヴェルテルの悩みの日本初版(久保天随訳)1904 ロシア語 ファウスト初版 日本初版のファウスト(高橋五郎訳)1904 世界一大きいファウスト 世界一小さいファウスト などがある。 2階には研究発



写真2 玄関脇の台石



写真3 玄関ホールのゲートの胸像
粉川館長(左)と筆者(右)



道 順 J R京浜東北線王子駅より徒歩10分
バ ス 京浜東北線王子駅2番乗車二ツ目一里塚下車
開 山手線駒込駅南口バス停より王子駅乗車一里塚下車
休 館 10時~17時
日 日曜日、月曜日、祝祭日

第1図 位置交通図

Alles Vergängliche
Ist nur ein Gleichnis;
Das Ungulängliche
Hier wird's Ereignis;
Das Unbeschreibliche
Hier ist's getan;
Das Ewig Weibliche
Zieht uns hinan

Goethe

一切の無常なるものは
只影像たるにすぎず。
曾て及ばざりし所のもの
こゝに既に行われたり。
名状すべからざる所のもの
こゝに既に遂げられたり。
永遠に女性なるもの
我等を引きて往かしむ。
森林太郎

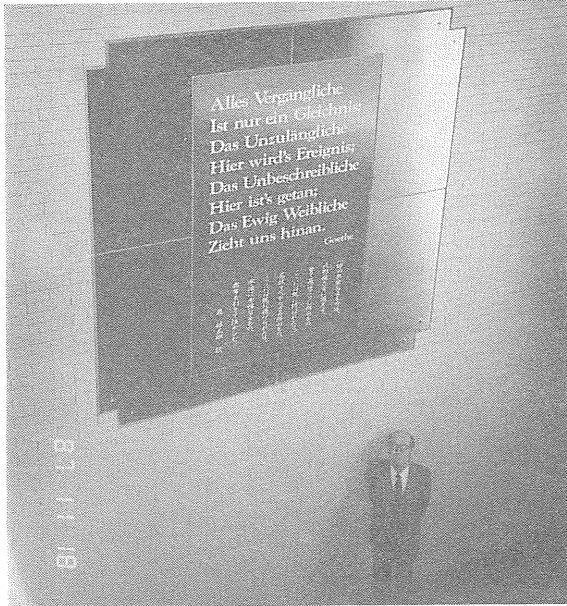


写真4 玄関ホールのゲーテの名文 別記

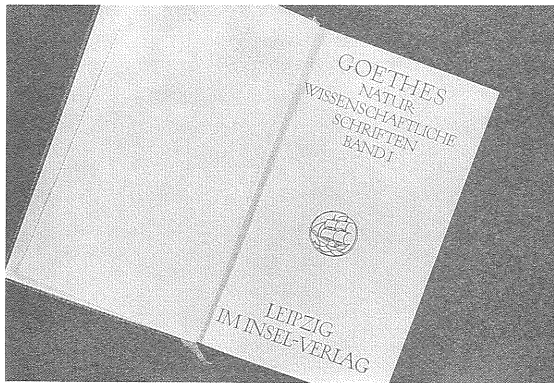


写真5 ゲーテの自然科学関係著作集

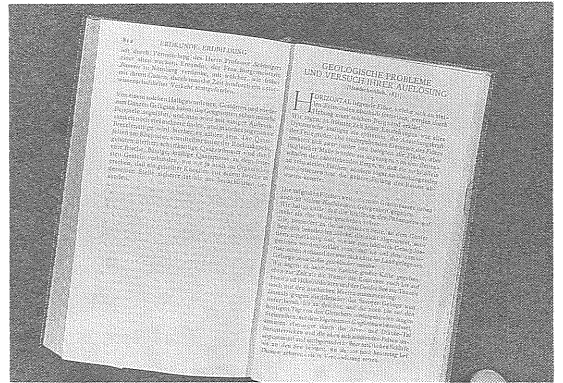


写真6 ゲーテの著作—地質学的諸問題とそれらの解明への試み(写真5の一部)

表室や目録室があり 3階は書庫となっている。さらに地下室には膨大な未整理の資料が納められている。

現在の収集文献としては 単行本・雑誌・演劇・音楽関係など あらゆる分野に亘って蔵書7万冊 附属資料15万点余 収集範囲は世界34カ国に及んでいる。これらを世界最精細の文献カードにより あらゆる角度からも索引が可能になっていて 現在日本文だけで150万枚に及び この貴重な索引は今後も増え続けて行くことであろう。

また社会への普及・啓蒙・協力として ゲーテ研究調査活動の助成 文献閲覧 展覧会・講演会開催公開など ゲーテに関心のある あらゆる人々に情報を提供してい

る。

ゲーテは明治以来 多くの日本人に親しまれてきたがそれは西欧人であるゲーテのなかに 東洋的な世界が深く蔵されているからであるといわれる。ゲーテはドイツが生んだ偉大な天才であるが 時代や国境を越えて世界の人々の心に しみじみと訴え続けている 詩聖である。

また自然科学分野にも多くの優れた業績があるが 地質学・鉱物学とのかかわりについては その著書—花崗岩について (Über den Granit)—の翻訳・解説をまじえてその概要をすでに述べた (地質ニュースNo. 349, 1983)。

興味と関心のある向には 本館所蔵のゲーテの地質学・鉱物学に関する著作をまとめた下記を探究されることをお勧めしたい(写真5, 6)。

Goethes Sämtliche Werke Band XVI, Goethes
Naturwissenschaftliche Schriften Band I

つぎにかような記念館の生立ちについて記さねばならない。財団法人東京ゲーテ記念館は 齢80歳を越えてなお矍鑠たる粉川忠館長の畢生の情熱を傾注されて今日ある異色の文化事業である。

粉川忠氏は茨城県の御出身で 茨城師範2年在学当時(大正13年) 闘病中の病床で 薦められるままに読んだ「ファウスト第一部」に深い感銘を受けたのがゲーテとの最初の出合いであったが 以後曲折を経て 万人のゲーテ愛好者がこぞって集まれるゲーテ図書館の設立を終生の使命と悟ったという。そして そのために要する莫大な費用を 夫婦共同で辛酸を経た味噌の加熱式生産機械の工業化による収入で果した。また独文学の権威木村謹治教授の学術的協力があり さらに法人化(昭和24年2月10日)には 田中耕太郎氏の援助と 同氏の紹介によ

る当時大蔵省国税局長であった池田勇人氏の経営上のアドバイスがあったといわれる。

かくして次第に整備拡充されて 世間にも学会にも認められるようになり 昭和27年には渋谷区に敷地400坪建物170坪の 当時樹木に囲まれた静かな緑の本格的なゲーテ記念館となって 蔵書も2万冊を数えるにいった。しかし東京オリンピックによる道路拡幅にかかって敷地が縮少し 増え続ける蔵書においつかなくなり ついに北区に新館を求めるにいったのである。

しかし粉川氏のつぎの構想は 長野県戸隠地区に 東独ワイマールのゲーテ・シラー資料館をモデルにした。外観はそれと全く同じくし 内部はハイテクを駆使した世界に比をみない資料館を 氏の終生の締め括りとして描いておられる。まさに有意義な文化事業に一生を捧げる崇高な姿を見る思いで 御健康を祈るや切である。

なお 西ドイツ政府から粉川氏の永年に亘る文化功勞に対し 1等功勞章が1983年に授与されている。

本文中の写真1~4は 愛知教育大学名誉教授鈴木重人氏の撮影によるものである。

最近中国で発見された新鉱床

岸本文男(地質相談所)

XLIX 太行山脈地域初の海泡石鉱床の発見

最近 天津地質鉱産研究所は燕山山脈の西部 太行山脈の北部で高品質の海泡石鉱床を発見した。鉱石の品質は優れ 海泡石含有率は75%から95%に達しているだけでなく 多くが長繊維である。この種の海泡石鉱は原生界中部—上部系の高干庄果層と霧迷山果層の珪質縞を伴った苦灰岩に胚胎され その鉱体は脈状および不規則ポケット状を呈し 各鉱体の規模がほぼ一定し 低温熱水充填タイプに属している。

(中国地質報 1987. 11. 23)

XLX 江西省南部17県で稀土類鉱量1,600万 tを越えた

地質研究者の長期にわたる調査によると 江西省南部17県すべてに稀土類鉱床がある。すでに発見済みの鉱床胚胎岩体は73体で 大型鉱床は4鉱床 中型鉱床は10鉱床 小型鉱床は数10を数える。それらの総埋蔵鉱量は1,600万 tを越えた。これらの鉱床はいずれも風化殻型に属し 採掘しやすく 選鉱しやすく 投資が少なく 収益が大きく 経済効率は非常に良い。現在 この17県で県営 郷営 村営 個人共同経営の稀土類鉱山は

1988年10月号

すでに100山に達し 年産1億元を越えている。

李德銓(中国地質報 1987. 4. 3)

XLXI 岳西県で珪線石鉱床

安徽省地質鉱産局313地質隊は 岳西県回竜山で探査試錐を実施し 一つの珪線石鉱床を発見して同省における珪線石鉱床の空白を埋めた。同鉱床は堆積変成タイプに属し その鉱石の試験選鉱実収率は高かった。

珪線石は高級耐火材の製造および高強度・軽質シリコン—アルミニウム合金の生産の重要な原料である。

呉延喜(中国地質報 1986. 7. 14)

XLXI 山東省で大型耐火粘土鉱床

山東冶金地質勘探公司第一隊は 濰博地区での2年間の地質調査・鉱床探査を経て 最近国家に一つの大型耐火粘土鉱床を提供した。その鉱量は大きく 賦存位置は浅く そして鉱石の品質が非常に優れ 一般鋼製錬の需要を満たすだけでなく 特殊鋼冶金の耐火度の条件も十分満たすものである。

陳維利 張魯 李徳夫(中国地質報 1987. 8. 10)